

ご協力いただける方、募集中です!



ボランティアさん

子どもと遊ぶのが好きな方、事務局のお手伝いを一緒にして下さる方、お待ちしております。

<小児待合室活動日>

毎週月曜日・木曜日、第2土曜日・第4日曜日 午前11時～午後2時
※新型コロナウイルスの感染状況によっては、変更されることがあります。

後援会員さん・ご寄付

当団体の活動は、みなさまの会費とご寄付や助成金で行っています。
ご理解とご協力をお願いいたします。

後援会員…ご入会いただくと「こどものちから通信」をお届けします。

◆個人3,000/年 ◆団体(1口)10,000円/年

ご寄付…みなさまの温かいお気持ちは、きょうだいさんの笑顔を増やす活動に 大切に活用させていただきます。

◆「こどものちから」の1年は、4月から翌年3月までです(^_^)

お振込先

郵便振替番号:00170-7-571697

口座名:特定非営利活動法人こどものちから

お問い合わせ・発行元

「特定非営利活動法人こどものちから」事務局
〒136-0073 東京都江東区北砂5-20-18-211
TEL:080-6867-6135 メールアドレス:tarumifight@yahoo.co.jp
※独立した事務所がございませんので、ご連絡は上記メールアドレスまで
お願いいたします。

Facebook:www.facebook.com/kodomonotikara

ホームページ:<http://kodomonochikara.org/>

<協力団体> 大原薬品工業株式会社
株式会社ソフトクリエイティブホールディングス
クリフォードチャンス法律事務所

たくさんの方々や企業の方々からご寄付いただきました。
いつもお心に留めていただきありがとうございます。

代表 井上るみ子



病院に連れてこられても病棟には入れない
きょうだいさんに遊んでもらう活動をしています。



～ 🎄 Merry Xmas 🍷 & 🇯🇵 Happy Newyear 🌱 ～
来年は巳年ということで縁起が良いとされている白蛇さんを
登場させてみました。 みなさんにとって来年もよりよい一年に
なりますようにお祈りいたします。

<制作者 スタッフ・さいとう はるみ>

No.28 2024.12月発行



網膜芽細胞腫の家族の会「すくすく」の勉強会 保育サポート!!

内部研修会(事前研修&準備)

研修会風景



6月30日(日)・7月7日(日) 午後1時~午後4時
協働ステーション中央にて、
スタッフ・ボランティア、総数のべ42名で実施しました。
前半は、保育について注意点や感染管理について。
後半は、当日こども達に遊んでもらう手作りおもちゃの
下準備。できあがったおもちゃで体験もしました。

スナッフ人形



今年は「30周年記念式典」と「勉強会」で、2日間に
渡る保育となりました。遊んでくれるこども達が十分に
楽しめるように、勉強会やおもちゃの準備をみなさん
熱心に取り組んでくださいました。
今回は、いつものビヨヨンへびやうちわ工作に加えて、
スナッフ人形も仲間入りです。

ボランティアの中には、今回もまた「当日は都合が付かず参加出来ないけれど、準備は手伝いませう。」とって参加して下さる方もいました。感謝です。

参加者からの感想



☆スナッフで止めてる紙人形かわいいですね。
こどもさんと人形遊びをしたいです。
☆活動内容を聞いて、病気のあるこどももそのきょうだ
いも同じようにこどもとして尊重されること、そのため
に大人が一生懸命になって活動している様子を知
ることができ、とても心が温かくなりました。
準備では、夢中になって遊んでしまいました。
本番では、たくさんこども達に遊んでもらえるよう
、エネルギーチャージして参加したいと思います。
☆身近な牛乳パックや紙などから、私達でさえも楽しめるおもちゃができるのはワクワクしました。



賑やかな工作風景①

賑やかな工作風景②



☆久しぶりに無心で集中して作業しました。完成させずに、
7/14・7/15におこさんと一緒に完成させる事をお聞きして
ワクワクしました。
☆当日は参加できませんが、今日作った物でこども達が楽し
く遊んでくれれば良いと思います。
色々な人と関わって、お話を聞ける良い機会となりました。
☆当日に大切にすることを確認できただけでなく、作業を通じ
てチームワークで力を合わせることができたので、当日に活
かせそうです。

「『連れてこられる場所』ではなく『行きたい場所』になれるように」「日常生活の中に『宝物』をみつけられるように」「それぞれが『大切にされる存在』であることに気づけるように」そんな願いを参加するスタッフもボランティアも感じとって、こども達に遊んでもらうのを楽しみにしながら作業をしたり当日の準備をしたりする感じが感じられて、とても頼もしく思いました。
会場を貸して下さる協働ステーション中央のスタッフの方から「いつも笑い声がたくさん聞こえて、私達も楽しい気持ちで事務作業が出来ます。」と嬉しい感想をいただきました。

活動内容

新型コロナウイルス感染症対策のため、残念ながら院内での活動は「現在も休止中」です。

- ◆ 6月30日(日) 第1回内部研修会「網膜芽細胞腫の家族の会『すくすく』勉強会保育に向けて準備を含む
- ◆ 7月 7日(日) 第2回内部研修会「網膜芽細胞腫の家族の会『すくすく』勉強会保育に向けて準備を含む
- ◆ 7月14日(日)・15日(月) 網膜芽細胞腫の家族の会「すくすく」の勉強会保育
- ◆ 10月13日(日) 第1回「クリスマス工場」、スタッフ・ボランティアのみにて実施
- ◆ 10月20日(日) 第2回「クリスマス工場」、スタッフ・ボランティアのみにて実施
- ◆ 10月22日(火) 上智大学「生と死のケアリング・コロキウム」講演
- ◆ 10月24日(木) 難病のこども支援全国ネットワーク主催「プレイリーダー養成講座」講演
- ◆ 11月 2日(土) こどもを亡くした親の会「稲村ヶ崎の会」協力
- ◆ 11月10日(日) 第3回「クリスマス工場」、スタッフ・ボランティアのみにて実施
- ◆ 11月17日(日) 第4回「クリスマス工場」、スタッフ・ボランティアのみにて実施
- ◆ 12月19日(木) 通信28号 発行

今後の予定

- ◆ 2月23日(日) 「藤田浩子さんのお話し会」
※時間：午後1時~午後3時
※場所：協働ステーション中央
住所：〒103-0001
東京都中央区日本橋小伝馬町5-1
十思スクウェア2F
最寄駅：東京メトロ日比谷線「小伝馬町駅」
4番出口 徒歩3分
申込み：2月13日(木)まで



- ◆ 3月 1日(土) 協働ステーション中央主催
「つながりマルシェ」ブース出展
- ◆ 5月11日(日) 総会
- ◆ 6月20日(金) 通信29号 発行

※新型コロナウイルスの感染状況によっては、変更されることがあります。

病棟へプレゼント

- ※こどものちからから、
かわいいスタンプ(30個)
- ※ソフトクリエイトホールディングさまから、
筆ペンと画用紙(30セット)
お届けしました(^_^)



お知らせ



活動をご理解・ご支援くださる企業や団体・個人のみなさまからたくさんのご寄付やご協力をいただきありがとうございます。

- ◆森のライフスタイル研究所さま
いつもカリンバを中継してくださってありがとうございます。
- ◆三菱食品さま
たくさんのカリンバを作ってくださいありがとうございます。
埼玉県立小児医療センターでの交流会イベントで活用いただきました。
- ◆こどもとデザインの実験室「二角形」さま
こども達が中心となって行ったレモネードスタンドの売上金のご寄付をいただきました。
交流できる日が来るのを楽しみにしております。
- ◆ソフトクリエイトホールディングス株式会社さま
いただいたご寄付は、待合室活動や交流会イベント活動の運営費として活用させていただきます。
- ◆チクチク会さま
折紙やフェルトのおもちゃをいただきました。触れているだけで癒やされてしまうフェルトのおもちゃ、いいですね。



こんな活動もしています

※認定NPO法人難病のこども支援全国ネットワーク ～プレイリーダー養成講座～

「こどもにとって『遊び』とは、「社会的関わりの成長」「こどもらしい体験の時間」「寂しさや恐怖・苦痛などへの心のケア」をするために大変重要である。」と言う考えの元、ましてや病児やきょうだい児には特に欠かせない。そのためにも病児やきょうだい児の「遊ぶ」活動を支援するボランティアを養成する講座を「プレイリーダー養成講座」として1999年10月から始めたそうです。私自身も「2012年春の講座」を受講し、その学びを基礎として「こどものちから」の活動を開始しました。その後養成講座の講師として活動しています。こどものちからの活動内容や注意していること・立ち寄ってくれるこども達の様子などを紹介して、受講生が今後の活動の参考にもらえるよう講演をしています。毎回、受講生の皆さんはとても熱心に聞いてくださるので、頼もしく感じています。



※上智大学 総合人間科学部 看護学科 ～生と死のケアリング・コロキウム～
2015年10月から1年に1度、三男が小児がんを発症し他界したことで起こった病児との関わりや環境の変化・私が失敗を通して気づいたことなどを中心に「あの頃」を振り返りながら聞いてもらっています。学生からの振り返りでは、ご自身の経験や学習してきたことをベースに、様々な角度から感想があり、「病児(当事者)メインのケアからきょうだい児を含めた家族へのケアの必要性」に気づいてくれたり「今後職に就いたときの心構えとしたい」と書いてくれる方が多く、とても嬉しい気持ちになります。受講後きょうだい支援に関心を持ち活動に参加してくれる学生もいて、ありがたい気持ちで一杯になります。

「すくすく30周年記念大会」

がんセンター中央病院管理棟にて

7月14日(日)13時～17時 基調講演会・パネルディスカッション・記念セレモニー

13:00～13:15	<オープニング>
13:00～15:50	あそびのじかん
14:00～15:30	おやつのじかん
15:50～16:00	かたづけのじかん
16:10～16:30	<クロージング>

スタッフ・ボランティア、総数20名。
5歳～10歳のおおさんを3名、終了間際に2人のおおさんが見学参加しました。

- ・「アッ! お兄さんだ〜!」
入室するなり、笑顔とともにボランティアに駆け寄るとすぐに遊びが始まりました。
- ・ボランティアの横で自発的に準備を手伝ってくれたお友達。「大きくなったね。」成長を感じさせる幸せな一時です。
- ・「こんなことできる? ぼくのマネして!」
お友達のウサギ跳びをマネして汗だくのボランティア達。おしゃべりたっぷりのおやつは、楽しい時間です。
- ・「なにしてるの〜?」
終了間際に明日お預かり予定の2人のお友達が見学。バルーンアートに興味津々。明日が楽しみです。



まけないぞ〜!



おいしいね〜(^^)

<ボランティアからの感想>

- ☆こども達の人数が少なかった分、材料をふんだんに使えて、こども達はとても満足気でした。
- ・昨年と比べて、成長している姿がほほえましかったです。
- ☆1人のこどもにたくさんの大人が全力で遊んでいる姿を見てとても心が満たされました。
- ☆新しい遊びを発見して、楽しむ姿や周りを巻き込んでいく様子にこどものちからってすごいなあと感じました。
- ☆やりたいことをおもいっきりできる環境の大切さを実感しました。



お手伝いするね



かわいいでしょ!



見ててね!

7月15日(月)10時～15時30分 おやこ交流会(保育講演会・資生堂メイクアップセミナー・懇親会・親子で「こどものちから」さんと遊ぼう)

10:00～10:15	<オープニング>
10:15～11:30	あそびのじかん
11:30～12:45	おひるごはん
13:00～15:30	あそびのじかん
13:30～14:30	おやつのじかん
15:20～15:30	おかたづけ
15:00～15:30	<クロージング>

スタッフ・ボランティア、総数20名。
2歳～10歳のおおさんを8名、後半は親御さんも10名参加しました。
今日は「30周年記念大会」としての特別企画。
「こどものちから」がおおさんをお預かりしているときの注意点や大切にしていることなどを親御さんに知ってもらいました。その後、おおさんと一緒におやつを食べたり、遊んだりしてもらいました。

<親御さんからの感想>

- ☆こどもと話しながらおやつを食べたのは、かなり久しぶりのことでした。
- ☆クリスマスカードを開いて喜んでいるこどもの顔を見ると幸せな気持ちになります。
- ☆夢の一時を過ごし、興奮気味で翌日もご機嫌に過ごしています。
- ☆きっかけ作りを「こどものちから」が行い、いつでも帰ってこれる居場所があるということがありがたい。
- ☆保育セミナーでは、あたたかい保育の源を知ることができ、保育をしているだけありがたいさが身に沁みました。
- ☆遺伝カウンセラーから
小さなこどもの病気だからこそ勉強会などでの保育が必要になり、その保育がきっかけでお友達になったこども達が年々仲間を増やしていくことが継続の鍵なのかもしれない。



久しぶりだね〜



こうするんだよ

☆クリスマス工場☆

～スタッフ・ボランティアさん達とがんばりました～

お友だちに『笑顔』が届きますように!!



- ◆開催日時：①10月13日(日) 午後13時～午後4時
②10月20日(日) 午後13時～午後4時
③11月10日(日) 午後13時～午後4時
④11月17日(日) 午後13時～午後4時
- ◆開催場所：協働ステーション中央(小伝馬町)

新型コロナウイルス感染症が世界中で大流行して5年目。5類に分類されて1年以上過ぎました。生活は、ほとんど元に戻ったようですが、残念ながら病院内での活動は、現在も休止のまです。無理はできないので、今回もまた、昨年同様スタッフとボランティアでクリスマス工場を実施しました。

今年、第1回目に「こどものちから」の名付け親である村上拓也君とご両親が参加してくださいました。8年ぶりの再会に感動です。いつもと違う雰囲気の中での開催になりました。延べ73名の参加があり、おかげさまで150枚を超えるすてきなカードができました。今年、なんとカッティングマシンを購入しました。いつものようにスタッフの斉藤さんの提案で、マシンを使って、いろいろな紙で文字やイラストをカットしました。出来上がった素材を駆使してアイデア満載のクリスマスカードを作りました。参加された方々は、作成しながら活動中に会った子ども達の様子を聞いたり、親御さんからいただいたカードを開封したときの子ども達の感想や写真の一覧を見て、今はなかなか交流できない子ども達に思いを馳せて、賑やかな中にも丁寧にカード作りを楽しんでくださいました。

参加者からの感想



- ☆初めての作業でしたが、集中して楽しめました。新しいことにトライできてありがたいです。
- ☆何かを作るって楽しい!! カードを「作る」「送る」ことができる私達が幸せです。
- ☆今年も皆さんの力作が見られて楽しかったです。カッティングマシンでゴージャスなカードができました。受け取った皆さまが笑顔になりますように。
- ☆今年も楽しく参加させていただけてホントに嬉しいです。「どんなカードにしようかな?」と考えたり色を塗ったり貼ったり、全部が楽しくて、すてきな時間を過ごすことができました。
- ☆初めてのカード作り。「どんなカードにしようか?」考えました。でもアイデアが中々浮かんで来なかったのですが、良い作品ができてとても満足です。
- ☆カード作りの経験がなく不安でしたが、かわいい飾りがいっぱいあり、優しく教えていただいたおかげで楽しくきれいなカードを作ることができました。お茶やお菓子も準備していただきありがとうございます。
- ☆秋になるとクリスマス工場が稼働するので、サンタの気持ちで取り組んでいます。
- ☆拓也さんとご家族がいらして、共同作業をしたり、おしゃべりをしたり、集中していたらいつの間にか2時間程経っていてビックリしました。
- ☆今夏「すくすく」に参加したので渡す子どもを鮮明に想像して作ることができました。自分が作ったものが届いたときに喜んでもらえると思うと嬉しいなと思います。

カード作成風景「お友達に届け!」



カッティングマシン

2人がかりでカット中!

拓也君と一緒に(^_^)

こんな感じいかが?

おしゃべりしながら

どれにしようかな?

糊づけも慎重に

こどものちから

こどものちから

みんなでがんばりましたよ~!

作品について行きたいよ~!